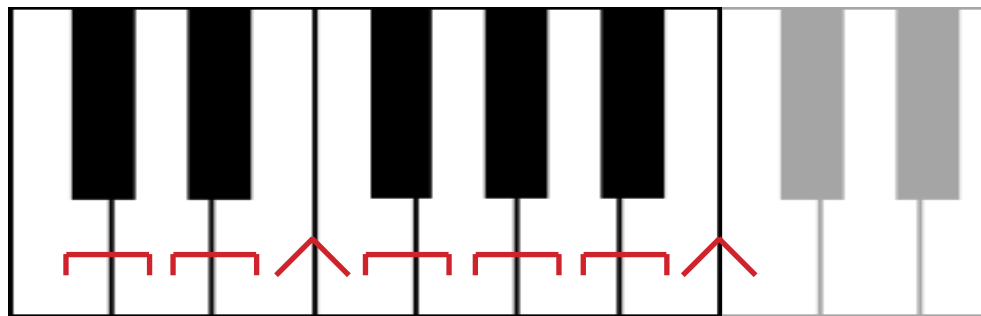
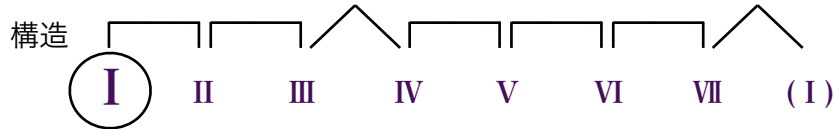


第2回 五線譜入門2 イヤトレ リズム基礎2

五線譜と鍵盤の関係

音楽で使われる音の数は12個しかありません。この内、Major Scaleと呼ばれる構造で並ぶ7つの白鍵、Major Scaleの構造上全音(半音2個分)部分の間に挿入される5つの黒鍵部分に別れます。

メジャースケール ~Major Scale~



そして、主要な白鍵部分をベースに「音名」が定められています。黒鍵部分については後で説明します。



英	C	D	E	F	G	A	B
伊	ド	レ	ミ	ファ	ソ	ラ	シ
日	ハ	ニ	ホ	ヘ	ト	イ	ロ

音の名称について

音楽理論では英語とイタリア語が良く使われます。日本語も交えてここに記します。

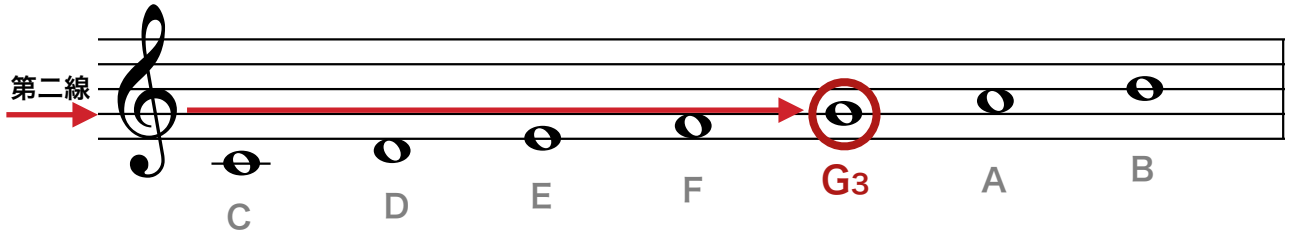
英語音名	C	D	E	F	G	A	B
イタリア音名	ド	レ	ミ	ファ	ソ	ラ	シ
日本語音名	ハ	ニ	ホ	ヘ	ト	イ	ロ

注) クラシックで使われるドイツ音名では「(独)B=(英)B♭」「(独)H=(英)B」となり、混乱をきたすのでポピュラー音楽理論等では使われない。

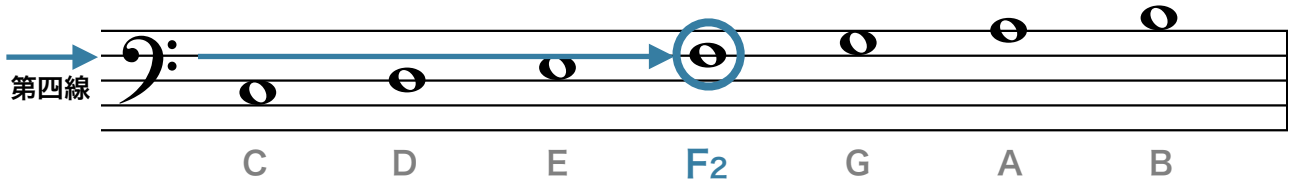
音部記号～ト音記号(G-clef) ヘ音記号(F-clef)

五線譜で音の高さの基準を定めるのは音部記号です。楽器によって様々な音部記号がありますが、高音部(トレブル:Treble)を表すト音記号と低音部(バス:Bass)を表すヘ音記号が最も良く使われます。

ト音記号：第二線を「G₃」の音と定める。(通常はオクターブを示す数字は省略する)



ヘ音記号：第四線を「F₂」の音と定める。主にベースやピアノの左手部分の表記に用いる



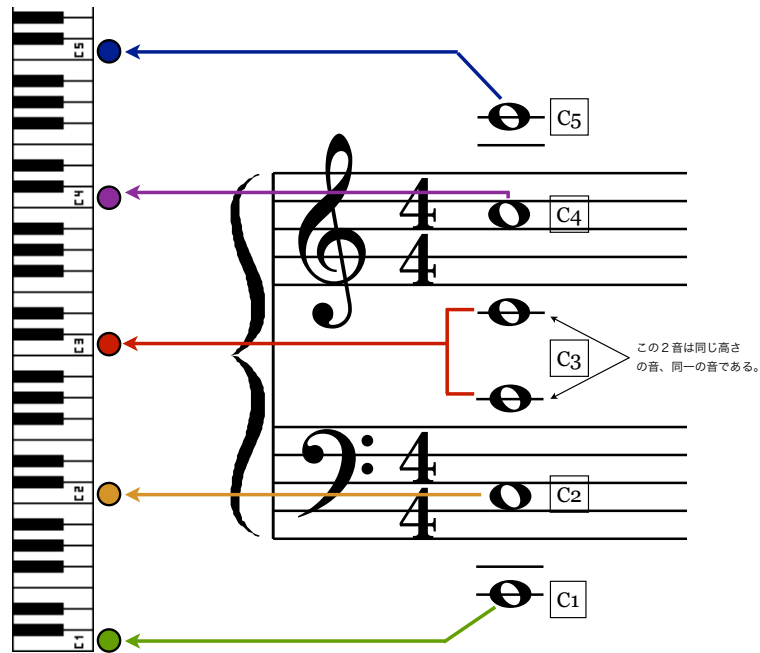
五線譜と鍵盤の関係

基本、五線譜は鍵盤を縦にした白鍵部分に対応しています。

英語音名	C	D	E	F	G	A	B
イタリア音名	ド	レ	ミ	ファ	ソ	ラ	シ
日本音名	ハ	ニ	ホ	ヘ	ト	イ	ロ

五線譜の上下の高さは白鍵を基準にした配列になっています。#やbを使わない限り五線譜上の音符はすべて白鍵を示し、音楽で一番使われる音階「Major scale」の構造となっています。鍵盤を縦にした状態が五線譜に対応しているのです。よって、理論を習得するには鍵盤で音を出して確認することが重要です。

鍵盤と楽譜の位置対応



音の高さは異なりますがこれらはすべて「C (ド)」の音です。詳しく音の高さまでを示すのに数字を用いて「C2」などと表記します。この関係を「オクターヴ」といいます。C2～C4の関係は2オクターヴとなります。

16beatのポイント練習

横一列で1小節と見ます。

